教科名	数学	科目	数学Ｂ（理系）	週授業時間	４単位

１．教科書および副教材・参考書

改訂版　高等学校　数学Ｂ（数研出版）　改訂版　高等学校　数学Ⅲ（数研出版）

改訂版　高等学校　数学Ｃ（数研出版）

改訂版　４プロセスⅡ+B（数研出版）　改訂版　４プロセスⅢ＋C（数研出版）

２．授業の目標および内容

数学Ｂ「数列」→数学Ｃ「ベクトル」→数学Ⅲ「関数」→数学Ｂ「統計的な推測」

→数学Ｃ「複素数平面」

上記の流れで学習を進めていく。重要２単元を最初に終え，数学Ⅱの授業との接続を意識したものである。変則的な流れであるが緻密に計算された指導順序なので問題ない。

進学クラスは主に基礎学力到達度テストに合わせた難易度設定で授業を行い、しっかりと学習すれば高得点が取れるように指導していく。また、特進クラスでは大学入学試験で多く取り上げられる話題も積極的に扱い、発展的な問題でも自ら学習できるような素地を身に付けさせていくことを目標とする。

３．試験について

	１学期		２学期		３学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末　3 月
学力試験	な　し		第１回　9 月		第２回　2 月

内容・難易度について

① 定期試験：試験時間は５０分とし、教科書の例題や練習問題に準じた問題を中心に出題する。授業中に実施したテストや副教材の問題集を利用して問題演習を中心に臨むことが大切である。

② 学力試験：試験時間は５０分とし、授業の内容からやや発展させ、応用力を問う出題とする。試験範囲は原則として入学当初から学習した事全てとする

４．評価の視点

１・２学期：(１次テスト素点＋２次テスト素点)／２　±　α

３学期：期末テスト素点　±　α

※ αは授業態度、提出物等を考慮して決定する。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	【数学Ｂ】 第３章　数列 　第１節　等差数列と等比数列 　第２節　いろいろな数列 　第３節　漸化式と数学的帰納法 **【数学Ｃ】** 第１章　平面ベクトル 　第１節　ベクトルとその演算 　第２節　ベクトルと平面図形	・数列と一般項 ・等差数列／等差数列の和 ・等比数列／等比数列の和 ・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和 ・漸化式 ・数学的帰納法 ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる成分 （※２節の途中で終わる予定）	随時小テスト実施
2	**【数学Ｃ】** 第１章　平面ベクトル 　第２節　ベクトルと平面図形 第２章　空間ベクトル	 ２学期で残した部分 ・空間の点　・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形	随時小テスト実施

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
2	**【数学Ⅲ】** 第３章　関数 **【数学Ｂ】** 第４章　統計的な推測	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数 独自プリントによる学習を予定	
3	**【数学Ｃ】** 第１章　複素数平面	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	随時小テスト実施